

## こころがぼかぼか

二日市東小学校二年

ひらの ゆき

ある日、わたしは、おとうとと外であそんでいました。すると、マンションから一人のおじいさんが、大きなゴミぶくろをもって出てきました。そのおじいさんは手をけがしていてとてもおもそうでした。

わたしは、大へんそうだから声をかけたかったけれど、はるかしくてすぐには言えませんでした。でも、おじいさんの後ろすがたを見ていると、やっぱり手つだいたいと思いました。だから、いそいそでおじいさんをおいかけて、思いきつて、

「大じょうぶですか。もちましようか。」

と、声をかけました。すると、

「おねがいます。えらいねえ。」

と、言ってくれました。わたしは、がんばって声をかけてよかったなあと思いつつ、ゴミおき場に行つてすててきました。

その時、おじいさんが、とってもニコニコして、

「ありがとう。」

と言ってくれました。そのえがおを見たら、わたしもニコニコえがおになっていました。

わたしは、このおじいさんのおかげで、えがおになったので、こころもあつたくなりました。だから、ちよつとのゆう気をもつて、声をかけてよかったと思いました。

これからも、かぞくや友だちとだけでなく、すこしでもこま  
っている人がいれば、声をかけていきたいです。そして、やさ  
しいえがおがいっぱいになるといいなあと思います。